

平成26年度 第3回林野庁入札等監視委員会
審 議 資 料

- 資料1 平成26年度第2・四半期の契約締結状況について
- ・ 契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

資料2 抽出契約について

- (1) 抽出契約の一覧表
- (2) 抽出契約に係る個別説明資料

物品役務等関係

- ・ 抽出1 平成26年度森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業
- ・ 抽出2 平成26年度特用林産物等の放射性物質濃度の調査業務（単価契約）
- ・ 抽出3 平成26年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業（関東・中部）
- ・ 抽出4 平成26年度次世代架線系高性能林業機械等開発推進事業のうち、既存の林業機械に取り付けて、架線集材の高度化や安全性の向上を図る機械の開発
- ・ 抽出5 平成26年度「森林における除染等実証事業」のうち「避難指示解除準備区域等における実証事業（田村市）」
- ・ 抽出6 平成26年度「森林における除染等実証事業」のうち「避難指示解除準備区域等における実証事業（飯館村）」

平成 2 6 年度第 2 ・ 四半期の契約締結状況について

契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

（対象：平成26年度第2・四半期分）

（単位：件、円）

契約担当部署	契約方式	工事関係		物品・役務等関係		合 計	
		一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約
林野庁本庁	件数			18	26	18	26
	金額			579,589,219	1,175,325,646	579,589,219	1,175,325,646
林政課 （一般会計）	件数			15	20	15	20
	金額			289,587,619	655,668,106	289,587,619	655,668,106
林政課 （東日本大震災復興特別会計）	件数			3	5	3	5
	金額			290,001,600	279,972,400	290,001,600	279,972,400
林政課 （エネルギー対策特別会計）	件数				1		1
	金額				239,685,140		239,685,140
研究・保全課 （森林保険特別会計）	件数						
	金額						
森林技術総合研修所 （一般会計）	件数						
	金額						
合 計	件数			18	26	18	26
	金額			579,589,219	1,175,325,646	579,589,219	1,175,325,646

注 少額随意契約は含まない。

抽出契約について

抽出契約の一覧表

【物品・役務等関係】

抽出番号	1	2	3	4	5	6
契約担当部署	森林利用課 (一般会計)	経営課 (一般会計)	研究指導課 (一般会計)	研究指導課 (一般会計)	研究指導課 (東日本大震災復興特別会計)	研究指導課 (東日本大震災復興特別会計)
契約名	平成26年度森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業	平成26年度特用林産物等の放射性物質濃度の調査業務(単価契約)	平成26年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業(関東・中部)	平成26年度次世代架線系高性能林業機械等開発推進事業のうち既存の林業機械に取り付けて、架線集材の高度化や安全性の向上を図る機械の開発	平成26年度「森林における除染等実証事業」のうち「避難指示解除準備区域等における実証事業(田村市)」	平成26年度「森林における除染等実証事業」のうち「避難指示解除準備区域等における実証事業(飯館村)」
契約内容の概要	森林・山村多面的機能発揮対策の取組みに関して、各都道府県に設置された地域協議会及び活動組織が実施した森林・山村の多面的機能の維持・向上のための活動内容やその効果等について調査・分析を行うことにより、対策の内容や支援のあり方を評価検証する。	きのこ・山菜等及びその生産基盤となる原木・土壌等の放射性物質濃度の調査	シカ等野生鳥獣による森林被害に対し、効率的・効果的な対策を推進するため、国有林野内にモデル地域を設定し、地域の農林業関係者と連携を図りながら、森林生態系の保全と農林業被害の軽減を目的に、シャープシューティング等様々な新技術等を組み合わせた新たな対策の実証を行う。	既存の林業機械に取り付けて、架線集材の高度化や安全性の向上を図る機械の開発	森林整備が停滞している地域における林業の再開を目指し、しいたけ原木の生産を中心とした林業活動が行われていた田村市都路地区において、地元が望む将来的な森林の管理を目指し、これまで培ってきた放射性物質の除去及び拡散抑制に関する技術等について様々方策を現地で実証。 (1) 実証事業実施のための同意の取得及びその手続き方法等の整理 (2) 更新伐、改植作業における作業員の被ばく低減措置と放射性物質の除去及び拡散抑制対策の実証 (3) 伐採木の林内活用等を通じた放射性物質の除去及び拡散抑制対策の実証	森林整備が停滞している地域における林業の再開を目指し、マツ等からなる人工林を中心に林業活動が行われていた飯館村において、地元が望む将来的な森林の管理を目指し、これまで培ってきた放射性物質の除去及び拡散抑制に関する技術等について様々方策を現地で実証。 (1) 人工林間伐における作業員の被ばく低減措置と放射性物質の除去及び拡散抑制対策の実証 (2) 伐採木の林内活用等を通じた放射性物質の除去及び拡散抑制対策の実証
契約相手先	一般財団法人長野経済研究所	日本環境科学株式会社	株式会社野生動物保護管理事務所	株式会社前田製作所	国土防災技術株式会社	一般財団法人日本緑化センター
予定価格	12,854,927	45,633,348	21,460,789	12,000,000	59,972,400	50,000,000
契約金額	7,365,600	27,345,600	21,168,000	11,860,070	59,972,400	50,000,000
落札率	57.3%	59.9%	98.6%	98.8%	100.0%	100.0%
契約方式	一般競争入札 (総合評価落札方式)	一般競争入札	一般競争入札 (総合評価落札方式)	随意契約 (公募)	随意契約 (公募)	随意契約 (公募)
応募者等の数	6	4	1	1	3	3
契約年月日	平成26年8月4日	平成26年8月22日	平成26年9月24日	平成26年8月22日	平成26年9月3日	平成25年9月4日
履行期限	平成27年3月20日	平成27年3月31日	平成27年3月20日	平成27年3月15日	平成27年3月20日	平成27年3月20日
再就職の役員の数	—	—	—	—	1	1
備考						